

令和 4 年度市民事業交流会企画案

1 目的

- (1) 県民に対する市民団体活動の広報
- (2) 市民事業支援補助金制度の広報

2 概要

「第 4 期かながわ水源環境保全・再生実行 5 か年計画」を県民に広く周知することなどを目的としてオンライン開催を予定している第 47 回県民フォーラムにて、市民団体の活動紹介及び市民事業支援補助金制度にかかる広報を行う。

3 日時（予定）

令和 4 年 11 月 20 日（日）13:00～16:00（予定）

4 場所

未定（オンライン開催。会場には、通信設備、出演者、県民会議委員、事務局、委託業者のみが参加予定）

5 手法

- ・オンライン用会場（対面観客無）における生中継
- ・市民事業専門委員会の枠は 30 分以内

6 参加者

- (1) 市民事業支援補助金補助事業者（卒業団体）
- (2) 水源環境保全・再生かながわ県民会議 市民事業専門委員会委員

7 主な実施内容

- (1) 市民事業支援補助金補助事業者（卒業団体）活動紹介
 - ・新型コロナウイルス感染症にかかる社会情勢を踏まえ、交流会等にて十分な実績報告を行えなかった令和元年度以降の卒業団体から申請区分別に 2～3 団体の活動紹介を行う。
 - ・1 団体あたり 5～10 分程度
 - ・団体は、①補助事業内容、②補助金のメリット、③団体の活動、④今後の展望等について説明する。
- (2) 市民事業支援補助金制度の広報
 - ・市民事業専門委員会委員から、市民事業支援補助金制度の簡単な説明や令和 5 年度募集及び令和 6 年度の募集案内を行う。

<候補団体について>

1. 令和元年度以降の卒業団体

- (1) NPO法人 共和のもり (森林の保全・再生ほか)
- (2) 戸川森づくりの仲間 (森林の保全・再生)
- (3) 森のなかま (森林の保全・再生ほか)
- (4) 特定非営利活動法人 日本の竹ファンクラブ (森林の保全・再生ほか)
- (5) 特定非営利活動法人 足柄丹沢の郷ネットワーク (間伐材の利活用促進ほか)
- (6) なかい里山研究会 (森林の保全・再生ほか)
- (7) 特定非営利活動法人 小田原山盛の会 (その他の特別対策)
- (8) 特定非営利活動法人 丹沢自然学校 (普及啓発・教育)
- (9) 特定非営利活動法人 野生動物救護の会 (調査研究ほか)

(以下、継続2年以下の団体)

- (10) まちづくりネットワーク愛川 (河川・地下水の保全再生ほか)
- (11) 報徳水を守る会 (河川・地下水の保全再生)
- (12) 協働参加型めぐりの森づくり推進会議「自然ふれあい楽校」グループ (普及啓発・教育)

2. 平成24年度～令和元年度にて補助金実績年数が長い団体

- (1) 特定非営利活動法人 四十八瀬川自然村 (森林の保全・再生、間伐材の利活用促進、普及啓発・教育)
- (2) 湘南二宮・ふるさと炭焼き会 (森林の保全・再生、間伐材の利活用促進)

		補助事業					
団体名		所在地	補助年度	区分	主な活動場所		
主な活動内容							
森林・間伐材等	1	NPO法人 共和のもり	山北町	H29～R1	森林 間伐材	山北町	○山北町共和地区において手入れの行き届いていない森林の整備(植林、下草刈り、間伐、枝打ち等)を行い、健全な水源林を保持し、間伐材を搬出、製材、加工する。
	2	戸川森づくりの仲間	秦野市	H27～R1	森林	秦野市	○県立秦野戸川公園において下草刈り、間伐等の整備を実施及び公園イベント時のクラブト教室の実施をする。
	3	森のなかま	小田原市	H22～R1	森林 間伐材	小田原市	○小田原市内の手入れの行き届いていない人工林の間伐、林内整理、材の運び出し等を行う。 ○手入れの行き届かない森を市民の手で「心地よい森」にすることを目的に活動。間伐材を利用し木工作品の作成を行う。
	4	特定非営利活動法人 日本の竹ブティッククラブ	横浜市	H20～28 R1～R2	森林 普及啓発	中井町 横浜	○中井町半形形の竹林において、間伐、チップ化作業を中心とした保全再生事業を行う。 ○地域水原林エリアにある中井町竹林整備活動と横浜市内4拠点の竹林整備活動を連携させ、各々の町民・市民が参加することにより、水資源の保全・再生の理解・経験・気づきを主導する。(竹灯笼祭、出前講座、竹の学校等)
	5	特定非営利活動法人 足柄丹沢の郷ネットワーク	横浜市	H30～R3	間伐材 普及啓発	山北町	○山北町玄倉地区等にて、手入れがされていない人工林のストギ・ヒノキや広葉樹の森林で発生した間伐材を使用し、暮らしたのつくりのワークショップを実施する。 ○山北町三保地区にて、水源地の森林の機能と現状、樹木や生物など多様性のある森林づくりについて学びながら体験する、高校生や教師を対象とした森林整備体験活動(間伐や除伐、造材や運搬など)を実施する。
	6	なかかい里山研究会	中井町	H21～R3	森林 間伐材 普及啓発	中井町	○中井町井ノ口の里山で間伐及び下草刈りを実施し、水源林として再生する。 ○中井町井ノ口地区の森林整備により間伐材の集材・搬出・加工を行う。搬出材は、薪や炭、ホダギ作りなどに有効活用し、森林環境の保全に役立てるとともに、成果物の販売を通して県民に森林保全の必要性を伝えていく。 ○中井町里山林で整備した間伐材を使用して、シイタケのホダ木づくり教室を実施する。
	7	特定非営利活動法人 小田原山盛の会	小田原市	H27～R1	その他の 特別対策	箱根町他	○箱根山地において、ニホンジカ的生活痕跡による分布調査等を行う。
	8	特定非営利活動法人 丹沢自然学校	秦野市	H27～R1	普及啓発	山北町	○丹沢山麓で、自然とともに暮らしや文化を体験するエコツアーを大学研究室との協働で実施する。この取組みを通じ、水源環境を保全する大切さを啓発する。
	9	特定非営利活動法人 野生動物救護の会	秦野市	R1～R3	調査研究 普及啓発	厚木市	○自然環境保全センター野外施設において、野生動物の痕跡調査や自動撮影カメラによる生態観察を行う。また、データ分析結果を活用した資料や教材を用いた一般向け講習会を行うことにより、生物多様性に配慮した水源環境保全等にかかる普及啓発を行う。 ○調査研究等により蓄積したデータの分析を基に作成した講習会資料や教材を用いて子供達や一般市民への講習会を行い、水源環境保全及び野生動物と人とのより良い共生に対する関心を高めるための普及啓発を行う。(体験教室、エコスクール等)
	10	特定非営利活動法人 四十八瀬川自然村	秦野市	H21～H30	森林 間伐材 調査研究 普及啓発	秦野市	○秦野市内の荒廃した森林について、下草刈り、枝打ち、間伐等を実施し、健全な水源林を確保する。 ○秦野市草浦及び柳川において間伐し、建築材とならない材を使い植生保護柵や土留め丸大筋工を製作、木道など設置する。また、一部製材して木製コンポストをつくる。雑木は、炭焼き、薪販売などにより自主財源の確保に繋げる。 ○秦野市内において、炭焼き、ホダ木菌打ち、植樹、河川生き物観察会、木工細工教室といった里山体験教室を実施する。 ○四十八瀬川等の環境状況(流域環境、植生状況、水質、底生生物、魚類等)を調査し、清流を守る活動を実施する。
	11	湘南二宮・ふるさと炭焼き会	二宮町	H22～H23 H26～H30	森林 間伐材	中井町	○中井町北田地区の里山において、下草刈り、間伐、搬出作業による整備を行う。間伐した木材・竹材を使って、木炭・竹炭、竹酢液・竹酢液を製造・販売する。

その他

補助金実績年数が長い団体

令和4年度 水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム
大規模フォーラムの開催について（案）

1 目的

今年度から始まる「第4期かながわ水源環境保全・再生実行5か年計画」を県民へ広く周知するとともに、県民と協働して取組を進めていく気運を醸成することを目的として開催する。

2 コンセプト（未定） ※今回検討・決定

3 キャッチコピー（未定） ※今回検討・次回までに決定

4 日時 ※今回検討・決定

令和4年11月20日（日）13:00～16:00（予定）
（土日祝日いずれか半日）

5 会場

未定（オンライン開催のため、会場には、通信設備、出演者、県民会議委員、事務局、委託業者のみが参加する）

6 参加者数及び対象者

(1) 参加者数（予定） ※今回検討・決定

400名程度（大規模ミーティング or ウェビナーのオプション利用を想定）

(2) 対象者

公募の一般参加者、市民団体、企業、県民会議委員及びOB、外部有識者、森林組合等の事業関係者、市町村の事業担当者等

7 企画内容（プログラム）（案）（今後、県民会議とも調整を図っていく。）

※今回プログラムの構成決定（内容の詳細は次回以降に検討）

	時 間	内 容
1	13:00~13:10(10分)	開会挨拶 ○知事又は副知事
2	13:10~13:40(30分)	『第4期かながわ水源環境保全・再生実行5か年計画』説明 ○水源環境保全課 ※映像の使用（15分程度）
3	13:40~14:10(30分)	市民団体の活動紹介 ○市民団体が行っている活動紹介
4	14:10~14:30(20分)	休憩
5	14:30~16:00(90分)	パネルディスカッション（キャッチコピー：未定） ○森林再生パートナー企業 ○市民団体 ○県民会議有識者委員（1名） ○県民会議公募委員（1名） ○県職員？（現場の研究職員（予定）） □コーディネーター（県民会議委員（有識者））

※各回に適宜 ZOOM 内コメントの質疑応答を入れたいと思います。

※司会の検討をお願いします。（情報発信チーム or 業者） ※今回決定